RACE REPORT

Green Brave

JapaneseEnduranceRace SuperTaikyu

BRIDGESTONE ENEOS

＃52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT4

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2023 Supported by BRIDGESTONE 第５戦

2023 年９月２日（土）～3 日（日） もてぎスーパー耐久 5Hours Race

■■■80kg のウェイトハンデやトラブルを乗り越え２位表彰台を獲得■■■

第５戦のレース時間は５時間。山﨑選手と GB ドライバーの吉田、服部、川合の３選手が出場しました。予選日（土曜）の天候は曇。ジェントルマンドライバーが出場する A ドライバーの予選では、山﨑選手が２周目に２分２秒 717 のベストタイムをマーク。ノーミスでアタックをまとめ、A ドライバーのトップを獲得しました。プロドライバーが多く出場する B ドライバーの予選では、吉田選手が３周目に２分 01 秒 785 のベストタイムをマークしたものの、順位は 6 位。80kg のウェイトハンデの影響が強く出た格好です。とはいえ、両ドライバーの合算タイムは２位で、表彰台を狙える位置につけました。C ドライバーの予選では服部選手が決勝を見据えたマシンセットを確認。続く D ドライバーの予選でも川合選手が同様のセットで走行し、決勝レースのシミュレーションを行いました。

決勝日（日曜日）の天候は晴。チームはスタートドライバーに吉田選手を起用。服部、山﨑、川合とつなぎ、得意のピット戦略で逆転を狙います。11 時 14 分、５時間の決勝レースがスタート。吉田選手は２位をキープしたまま１周目を終了。予選１位の#22 ケイマンに続き１コーナーへ進入します。後方ではランキング２位の#885GR Supra が予選 8 位から 3 位までポジションを上げていますが、吉田選手のペースも良好。リードを保ちながら周回します。しかし、30 周目に入る頃から車内の空調にトラブルが発生。吉田選手は暑さに耐えながら走行を続けます。

決勝結果（ST-Z クラス）
＃52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT4
（山﨑 学／吉田広樹／服部尚貴／川合孝汰）
決勝：２位（138 周、５時間２分 44 秒 297）
予選：２位（合算タイム４分 04 秒 502）

37 周目の終わりにチームは吉田選手を呼び戻し、最初のピットインを実施。服部選手に交代し、給油のみでピットアウトします。店舗メカニックの素早い作業により、服部選手は２位をキープ。40 周目の終わりに#22 ケイマンがピットに入り、トップに立ちますが、重いウェイトと空調の不具合が服部選手を苦しめます。47 周目には後方から追い上げてきた#885GR Supra とテールトゥノーズに。服部選手は他クラスの車両を巧みに利用しながらポジションを守りますが、59 周目にかわされ２位に後退します。服部選手の状態を考慮し、チームは予定より早いピットインを決断。66 周目終わりに 2 度目のピットインを行い、山﨑選手に交代します。給油とタイヤ交換の他、ボンネットを開け、空調トラブルの応急処置を実施。ライバルより早い段階でのピットインのため、4 位まで順位を下げますが、76 周目に 2 位に復帰します。空調の状況は若干改善しており、8 秒前を走る#885GR Supra を追いかける展開。その後、3 位の#26Z が猛追してきますが、山﨑選手は２位をキープ。102 周目の終わりに最後のピットインを行い、川合選手に交代します。タイヤ交換はなく、給油のみでピットアウト。レース終了までの残り約 70 分を川合選手に託します。ライバルのピットインにより、108 周目終わりに 2 位へ。川合選手は当初 10 秒あったトップの#885GR Supra との差を縮め、残り時間 10 分で５秒差となります。ファイナルラップではさらに接近しますが、テールをとらえたところでチェッカー。惜しくも 2 位となりましたが、#885GR Supra に 37 ポイント差をつけ、ランキングトップを快走しています。なお固定の２名を含む６名の店舗メカニックは、暑く、長丁場のレースでも集中力を切らすことなく安全かつ確実なピットワークを遂行。突然の空調トラブルにも対応し、2 位表彰台の獲得に貢献しました。

©2023 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.

DRIVERS VOICE

チームのおかげで表彰台を獲得できましたが、ライバルが目の前を走っていたので本当に悔しいです。決勝はウェイトの影響でマシンに疲労が蓄積するとはいえ、最後は僅差だったので、自身のペースをもう少し上げられていたら逆転できたのかなと色々思うところがあります。次戦の岡山まで時間がありませんが、もう一度自身の走りを見つめ直して出直してきます。応援に来てくれた皆さんの前で優勝したかったのですが、自身の力も含めて一歩及ばず申し訳ないです。次戦頑張ります。

（山﨑　学選手）

順位だけを考えれば今回の 2 位という結果は良いと思いますが、優勝したチームはシリーズランキングを争っているチームなので、そこに負けたということは反省して今後に活かさないといけないと思います。埼玉からもたくさん応援に来ていただいて元気の素になりましたが、自分達がもっと良いレースをするために力を出し切れたかというと、まだできることはあったと思うので、しっかり今後に活かしてチャンピオンを獲れるような残りのレースをしたいと思います。

（吉田広樹選手）

エアコンが壊れて車内の温度が上がって大変でした。成績だけをみると悪くないと思いますが、優勝が同じ GR Supra でランキング 2 位の 885 号車ですし、ほんの数秒届かず残念です。それでも連続表彰台をとっていますのでチーム力は向上していると思います。今回 885 号車とはウェイトハンデに 40 キロの差がありましたが、次戦はハンデの差が少なくなるので対等の勝負ができると思います。まだまだポイントランキングはリードしているので次戦頑張ります。

（服部尚貴選手）

一発の速さよりも他クラスのクルマを抜く際や抜かせる時のロスを少なくし、コースから脱輪しないようにコンパクトに走るよう意識しました。優勝も狙えたので満足できる結果ではないですが、ブレーキもきつかったので、その中ではいい結果だったと思います。埼玉トヨペットのみなさんが大勢来ていただいた前で勝ちたかったですが、チャンピオンを狙う上で 3 勝と 2 位 2 回という成績は申し分ないと思うのでこの流れを崩さないようにあと 2 戦気を引き締めて頑張ります。

（川合孝汰選手）

ST-Z クラス決勝結果

1 位	シェイドレーシング GR SUPRA GT4 EVO（トヨタ GR Supra）	138 周
2 位	埼玉トヨペット GB GR Supra GT4（トヨタ GR Supra）	138 周
3 位	Raffinee 日産メカニックチャレンジ Z GT4（日産 Z）	138 周
4 位	SUN'S TECHNO AudiR8BLMS GT4（アウディ R8 LMS）	137 周
5 位	ナニワ電装 TEAM IMPUL Z（日産 Z）	137 周
6 位	ベンチャー投資のファンディーノ Audi R8 LMS（アウディ R8LMS）	136 周

出走 10 台 トップ 6 まで

ST-Z クラスポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1 位	**52**	**埼玉トヨペット Green Brave**	**144**
2 位	885	SHADE RACING	107
3 位	26	TEAM ZEROONE	77.5
4 位	34	TECHNO FIRST	68
5 位	21	Audi Team Hitotsuyama	54
6 位	19	Birth Racing Project【BRP】	52.5

トップ 6 まで

【NEXT RACE】第 6 戦 10 月 21 日（土）～22 日（日）岡山国際サーキット（岡山県美作市）

Green Brave PARTNERS

赤城車体工業株式会社

EMG ルブリカンツ合同会社

株式会社エヌ･ティ･コーポレーション

株式会社 FM　NACK5

株式会社岡崎巧芸

株式会社カーグラス･JP

埼群スリーボンド株式会社

株式会社三和広告社

JU 埼玉オートオークション株式会社

株式会社西武ライオンズ

ティーズ･ワークス

株式会社デンソーソリューション

株式会社ドーム

トヨタホーム東京株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社 埼玉支社

ファクトリーギア株式会社

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

丸和工業株式会社

Mechanix Wear LLC

※50 音順

©2023 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.